

エリートツリーの成長

- 武津英太郎 (2024) エリートツリー山出し後の成長. 山林, 1679:25-33
- 伊藤 哲 (2023) 造林・施業の観点からみたエリートツリーへの期待と要望. 森林遺伝育種, 12(4):144-149.
- 栗田 学 (2023) エリートツリー, これまでの歩みと将来展望. 森林遺伝育種, 12(4):123-128.
- 松下通也・武津英太郎・花岡 創 (2022) 優れた樹木を選び広める林木育種事業—次世代のエリートツリー選抜にむけて—. 森林科学, 96:2-6.
- 松下通也 (2023) 日本の林木育種の過去・現在・未来:(2) スギ-3 スギにおける林木育種戦略: 精英樹選抜と次世代化. 森林遺伝育種, 12(4):157-162.
- 大谷達也・米田令仁・福本桂子・山川博美 (2024) 四国中央部における4年生のスギ特定母樹苗「高岡署1号」での寒害. 森林総合研究所研究報告, 23(2):83-88.
- 大塚次郎・森山央陽・栗田 学・久保田正裕・倉本哲嗣 (2022) スギ特定母樹若齢木の樹形および台木仕立て過程における採穂量の推移. 九州森林研究, 75:45-52.
- 高橋 誠 (2023) 日本における林木育種の現況と今後の方向性. 森林遺伝育種, 12(2):59-62.
- 宇都木 玄 (2024) 成長に優れた苗木を活用した施業モデルの開発の概要. 山林, 1676:31-38
- 山野遼太郎 (2024) エリートツリーの育種と育苗. 山林, 1677:27-32.

下刈り回数の削減

- 原谷日菜・伊藤 哲・中山葉月・山岸 極・山川博美・溝口拓朗・平田令子 (2023) スギ植栽木に対するススキ型および落葉広葉樹型競合植生の被圧効果の違い. 日本森林学会誌, 105(5):147-153.
- 平岡裕一郎・重永英年・山川博美・岡村政則・千吉良 治・藤澤義武 (2013) 下刈り省略とその後の除伐がスギ挿し木クローンの成長に及ぼす影響. 日本森林学会誌, 95:305-311.
- 平田令子・伊藤 哲・山川博美・重永英年・高木正博 (2012) 造林後5年間の下刈り省略がヒノキ苗の成長に与える影響. 日本森林学会誌, 94:135-141.
- Hirata R, Ito S, Araki MG, Mitsuda Y, Takagi M (2014) Growth recovery of young hinoki (*Chamaecyparis obtusa*) subsequent to late weeding. Journal of Forest Research 19: 514-522.
- 五十嵐哲也・奥田史郎・倉本恵生・宮本和樹・八木橋勉・山川博美 (2020) 茨城県における下刈り期のスギ植栽木と植生の競合. 関東森林研究 7(1): 65-68.
- 伊藤 哲 (2016) 低コスト再造林の全国展開に向けて—研究の現場から—. 山林, 1586:2-11.
- 伊藤 哲・平田令子・山岸 極・溝口拓朗・山川博美 (2023) スギ特定母樹の中苗活用による下刈り省略の可能性. 日本森林学会誌, 105(7):245-251.
- Imaoka A, Hirata R, Mitsuda Y, Ito S (2019) Effect of preweeding size of competitive plants in a young hinoki (*Chamaecyparis obtusa*) plantation on their resprouting ability after weeding in a warm-temperate region. Journal of Forest Research, 24(6):386-390.
- 北原文章・渡辺直史・光田 靖・山川博美・酒井 敦・垂水亜紀 (2013) スギ植栽木の成長と下刈り対象木の競合状態との関係. 森林応用研究, 22:1-6.
- 中村松三・伊藤 哲・山川博美・平田令子 編 (2019) 低コスト再造林への挑戦—貫作業システム・コンテナ苗と下刈り省力化. 日本林業調査会 (J-FIC)
- 野宮治人・山川博美・香山雅純・荒木眞岳・金谷整一・安部哲人・重永英年 (2016) 下刈り省略による再生植生タイプとスギ植栽木の初期成長への影響. 九州森林研究, 69:103-105.
- 小川健一 (2024) 良い母樹、良い種、良い苗木を選んで育てる—グルタチオン施肥で下刈り回数の低減を目指して—. 山林, 1680:36-44.
- 大谷達也・米田令仁・福本桂子・山川博美 (2023a) 優良スギ苗品種や土壌・地形条件による成長差を利用した下刈り省力. 日本森林学会誌, 105(11):329-337.
- 大谷達也・米田令仁・福本桂子・山川博美 (2023b) 四国中央部におけるスギ苗3種の成長比較—在来実生苗と九州の挿木苗2品種—. 森林総合研究所研究報告, 22(4):217-221.
- 重永英年・山川博美・野宮治人 (2016) 人工林皆伐後2年目の林地における下刈り後のアカメガシワの生残と成長. 九州森林研究, 69:41-45.
- Tanaka S, Ito S, Hirata R, Yamagishi K, Mizokuchi T, Yamagawa H, Nomiya H (2023) Initial growth of large, outplanted, container-grown rooted cuttings of sugi (*Cryptomeria japonica*) with leaf removal treatment for

alleviating transplant shock and stem incline. *Forests*, 14(7):1394.

- 田村俊和 (1996) 微地形分類と地形発達—谷頭部斜面を中心に—. 恩田裕一ほか (編) 水文地形学—山地の水循環と地形変化の相互作用—. 古今書院, 177-189.

鶴崎 幸・佐々木重行・重永英年・山川博美 (2016) 下刈りがスギ幼齢木と雑草木の成長に及ぼす影響. *九州森林研究*, 69:99-102.

鶴崎 幸・山川博美・伊藤 哲・重永英年・佐々木重行 (2020) 競合植生によって異なるスギ造林地の下刈り要否の判断基準. *日本森林学会誌*, 102:225-231.

- 山川博美・重永英年・荒木眞岳・野宮治人 (2016) スギ植栽木の樹高成長に及ぼす期首サイズと周辺雑草木の影響. *日本森林学会誌*, 98:241-246.

山川博美 (2017) 再造林における下刈り省力化の可能性. *山林*, 1598: 58-66.

山川博美 (2024) 成長に優れた苗木を活用した下刈りスケジュールとその PDCA. *山林*, 1681:20-27.

植栽密度

福地晋輔・吉田茂二郎・溝上展也・村上拓彦・加治佐剛・太田徹志・長島啓子 (2011) 低コスト林業に向けた植栽密度の検討—オビスギ植栽密度試験地の結果から—. *日本森林学会誌* 93(6): 303-308.

野口麻穂子・和田 寛 (2017) 秋田県における植栽密度の異なるスギ若齢林の林分構造と成長. *日本森林学会誌*, 99(1):41-45.

- 野口麻穂子・齋藤智之・酒井 敦・青山岳彦 (2023) 下刈り方法の異なるスギ若齢林において植栽密度が植栽木と競合植生の成長に与える影響. *日本森林学会誌*, 105(9):291-297.

重永英年 (2023) 低密度植栽を考える：植栽密度の変遷、造林コスト、生育特性を整理する. *現代林業* 681: 52-58.

上杉 基・井上万希・世見惇一・三重野裕通 (2021) オビスギ植栽密度試験地における立木の応力波測定. *九州森林研究*, 74:97-98.

シカ被害対策

Abe T (2021) Effects of treeshelters on seedling performance: a meta-analysis. *Journal of Forest Research*, 27:171-181.

野宮治人・山川博美・重永英年・伊藤哲・平田令子・園田清隆 (2019) 植栽したスギ大苗に対するシカ食害痕の高さ分布は斜面傾斜に影響される. *日本森林学会誌* 101(4): 139-144.

野宮治人・山川博美・重永英年・伊藤哲・平田令子・引地修一 (2020) キュウシュウジカによるスギ幼齢木の折損被害の特徴. *日本森林学会誌* 102: 202-206.

Nomiya H et.al. (2022) Survival and growth of planted Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) with tree shelters to prevent deer browsing: a case study in southwestern Japan. *Journal of Forest Research*. 27: 200-205.

野宮治人 (2024) 獣害問題再点検. *山林*, 1682:25-32.

Yagi T (2021) The combined effects of tree shelters, large stock and vegetation control on the early growth of conifer seedlings. *Journal of Forest Research*, 27(3):206-213.

Yamagawa H, Kitahara F, Otani T, Yoneda R, Suzuki KK, Nomiya H (2023). Assessing the damage caused by deer on young trees in a Sugi (*Cryptomeria japonica*) plantation based on field signs. *Journal of Forest Research*, 28(3):194-203.

山川博美 (2023) シカの影響度合いを簡単な痕跡調査で把握する. *九州の森と林業*, 143: 1-3.

山川博美・濱田辰廣・長淵直・森秀紀・木學良廣・鈴木圭・野宮 治人 (2023) 九州地域の若齢造林地におけるシカ被害リスクの広域評価. *森林総合研究所研究報告*, 22(4):209-215.

コウヨウザン

藤澤義武 (2017) 特集「これからの林業とコウヨウザン」について. *森林遺伝育種*, 6(4):132-136.

磯田圭哉・山口秀太郎・近藤禎二・大塚次郎・生方正俊 (2021) 小松沢国有林（茨城県日立市）におけるコウヨウザン植栽 3 年間の成長経過. *関東森林研究*, 72(1):61-64.

- 劉 元 (1999) コウヨウザン植栽木の材質に及ぼす地位および成長率の影響. *高知大学農学部紀要*. 68:1-66.

大塚次郎・磯田圭哉・後藤誠也・松永孝治・倉原雄二・倉本哲嗣・久保田正裕・近藤禎二・生方正俊 (2019) 植栽後 7 年次までのコウヨウザンとスギの系統別の成長比較. *九州森林研究*, 72:29-32.

鶴川 信・藤澤義武・大塚次郎・近藤禎二・生方正俊 (2020) ニホンノウサギによる食害とその防除がコウヨウザン 1 年生苗の生残および成長に与える影響. *日本森林学会誌*, 102:317-323.

鶴川 信・藤澤義武・大塚次郎・近藤禎二・生方正俊 (2021) コウヨウザン苗の食害に対するミカンネット被覆およびカプサイシン散布の効果. *九州森林研究*, 74:19-23.

鶴川 信・藤澤義武・大塚次郎・近藤禎二・生方正俊 (2023) ノウサギが主軸を切断できるコウヨウザン植栽苗のサイズ. *日本森林学会誌*, 105(7):239-244.